

農林水産技術センターのミッションと研究の方向

◎ ミッション

農林水産業の振興と健康で豊かな府民生活の実現に資するため、京都府の農林水産施策の推進を技術面から支え、①食の安全性・信頼性確保と健康に良い食の供給を支える研究、②収益性の高い農林漁業経営を支える研究、③豊かな地域環境を守るための研究を3つの柱とし、その成果の迅速な普及と農林水産業を支える担い手の育成支援を推進する。

各センターのミッション

農林センター	生物資源研究センター	畜産センター	海洋センター
<p>農林産物の産地基盤強化、ブランド力向上、企業的担い手育成など、重要施策と連動した技術支援を行う。</p> <p>また、京野菜、京都米、酒米、特産豆類、宇治茶、林産物の振興に役立つ京都ならではの生産技術を開発する。</p>	<p>京野菜や酒米など栽培しやすく、品質が良い、良食味など生産者、消費者ともに評価され、ブランド力強化につながるよう府独自品種の育成を行う。</p> <p>また、環境にやさしい農業を推進するため、植物ワクチンをはじめ先駆的微生物利用技術の開発を行う。</p>	<p>府民への安心・安全・高品質な畜産物提供や循環型社会の形成、経営改善やブランド畜産物増産を進める技術開発、技術支援を行う。</p> <p>また、担い手支援のための技術研修、家畜とのふれあいや体験学習を通じた憩いと食育の場の提供など、家畜と施設を活用した畜産業振興を展開する。</p>	<p>丹後の海と生物に関する調査・研究を行い、漁業生産に関する課題解決を担う。</p> <p>また、資源管理型漁業や栽培漁業の推進による漁業振興に役立つ技術開発等を実施し、府北部地域の活性化を支援する。関係団体とともに漁業の即戦力となる担い手育成の支援を行う。</p>

◎ 研究の方向

<府民にとって必要な研究の視点>

